

2025 年度

亀田医療大学

学生生活満足度・実態調査報告書

1. 調査目的

本調査は、亀田医療大学の学生支援体制およびキャンパス環境に対して、学生がどの程度の満足を得ているのかを把握し、さらに、得られた結果から、学生支援およびキャンパス環境の課題を明確にし、学生生活の充実に資することを目的とする。また、学生の修学状況や課外活動等の学生生活の現状を的確に把握し、今後の大学運営や学生生活の環境整備、将来的な大学計画の参考にする事を目的とする。

2. 調査対象

2025 年 7 月時点で本学に在籍する全学生を対象とした。

3. 調査期間

2025 年 7 月 11 日から 7 月 25 日まで（各学年夏休みガイダンス時に実施）

4. 調査方法

学生に調査目的と趣旨を説明し、自由意思による調査協力を依頼した。

Microsoft Office365 アプリ forms を用いて実施した。forms の URL を QR コードで掲示・配布し、各自スマートフォンからアクセスして回答を収集した。本調査は成績評価には一切関係ないことを説明した。

5. 調査項目

アンケートの主要項目として、「Ⅰ.学生支援」6 項目、「Ⅱ.屋内施設」8 項目、「Ⅲ.屋外施設」3 項目、「Ⅳ.大学生活全般」6 項目、「Ⅴ.総合的な学生生活」の満足度に関する質問内容を設定した。

実態調査の項目として、「Ⅵ.現在の生活状況」は通学時間や生活費やアルバイトの状況に関する 6 項目、「Ⅶ. 修学の状況」は学修時間や不明点の対応に関する 3 項目、「Ⅷ. 学生自治会・学生団体（部、サークル）活動」は学生自治会・学生団体（部、サークル）活動やボランティア活動の参加状況に関する 4 項目、「Ⅸ. 学生生活の悩み」は 2 項目を質問内容とした。さらに、「Ⅰ」～「Ⅳ」の各設問の最後に回答理由や意見を記入するための自由記載欄を設け、調査用紙の最後に具体的な意見等を記入するための「Ⅹ. 自由記載」を設けた。

6. 調査結果 本調査で対象とした学生は 240 名(休学者 3 名除く)であった。そのうち、回答の得られた学生 173 名（回収率：72.1%）を分析対象とした。

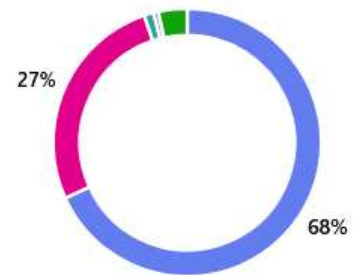
表 1 学年別の回収率

学年（人数）	回答数	回収率
1 年生(79 名)	67	84.8%
2 年生(41 名)	38	92.7%
3 年生(72 名)	26	36.1%
4 年生(48 名)	42	87.5%
総数（240 名）	173	72.1%

「Ⅰ.学生支援」について

（１）チューター制による学生支援に対する満足度

● 5：満足	118
● 4：やや満足	46
● 3：やや不満	2
● 2：不満	1
● 1：利用したことがなくわからない	6



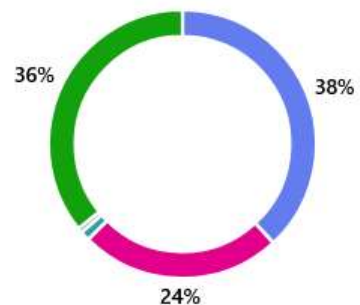
「利用経験なし」と回答した学生は 6 人（3%）/173 人で、昨年（2.1%）より上昇していた。

- ✓ 「満足」68%、「やや満足」27%を合わせた割合は 95%で、昨年（94%）と同様
- ✓ 「不満」0.6%、「やや不満」1.1%を合わせた割合は 1.7%で、昨年（3%）から微減
- ✓ 「利用したことがなくわからない」の割合は 3.5%で昨年（2%）より微増。
- ✓ 自由記載では、「学生支援の意味がわからない」という意見があった。

チューター制度に対しては ほぼ満足しているが、少人数ではあるが不満がある学生や利用経験なしの学生が昨年と同様の割合でいることがわかった。

（２）オフィスアワーによる学生支援に対する満足度

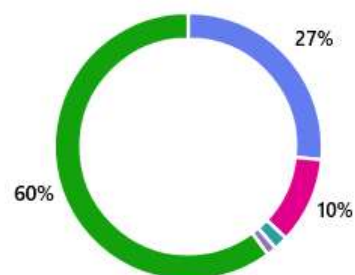
● 5：満足	66
● 4：やや満足	42
● 3：やや不満	2
● 2：不満	1
● 1：利用したことがなくわからない	62



「利用経験なし」と回答した学生は 62 人（35.8%）/173 人で、昨年（54.2%）から減少したものの、学生の 1/3 はオフィスアワーの利用経験が無かった。 昨年はいなかった「不満」、「やや不満」と回答した学生が 3 名（1.7%）いた。

(3) VOICE ボックスに対する満足度

● 5 : 満足	46
● 4 : やや満足	18
● 3 : やや不満	3
● 2 : 不満	2
● 1 : 利用したことがなくわからない	104



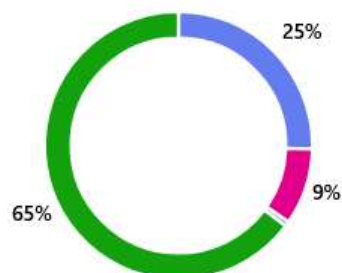
「利用経験なし」と回答した学生は 104 人（60.1%）/173 人で、昨年（78.8%）よりも減少していた。

昨年はいなかった「不満」「やや不満」という回答者が 5 人（2.9%）いた。

VOICE ボックスを利用した学生の人数は昨年より増加したものの少数ながら不満をもつ回答者がいた。ただし、昨年までは毎年見られた自由記載での懐疑的な意見は見られなくなった。

(4) 学生カウンセラーに対する満足度

● 5 : 満足	44
● 4 : やや満足	16
● 3 : やや不満	1
● 2 : 不満	0
● 1 : 利用したことがなくわからない	112



「利用経験なし」と回答した学生は 112 人（64.7%）/173 人で、昨年（75.4%）よりも利用経験のない学生が約 11 ポイント減少し、利用したことがある学生数は 61 名（昨年度 35 名）と大幅に増加した。

✓ 利用したことがある学生（35 名）のうち、「満足」は 65.7%（23 名）、「やや満足」は 31.4%（11 名）であった。

✓ 「やや不満」は 2.9%（1 名）であった。

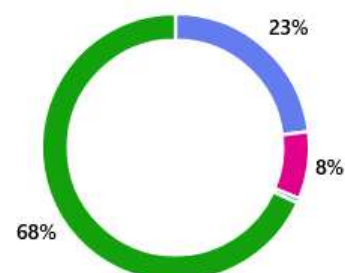
✓ 利用したことがある学生（61 名）のうち、「満足」は 72.1%（44 名）、「やや満足」は 26.2%（16 名）であった。

✓ 「やや不満」は 1.6%（1 名）であった。

学生カウンセラーを利用した学生の割合は増加し、利用した学生はほぼ満足していた。

(5) ハラスメント相談員に対する満足度

● 5 : 満足	40
● 4 : やや満足	14
● 3 : やや不満	1
● 2 : 不満	0
● 1 : 利用したことがなくわからない	118

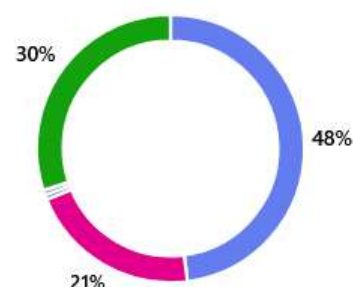


「利用経験なし」と回答した学生は 118 人（68.2%）/173 人で、昨年（78.9%）よりも利用経験がない学生の割合が 10 ポイント近く減少していた。利用した学生（55 名）のなかでは、「満足」40 人（72.7%）、「やや満足」14 人（25.5%）で利用者はほぼ満足していたが、「やや不満」1 名（1.8%）も見られた。

ハラスメント相談員を利用した学生の割合は増加し、利用した学生はおおむね満足していた。

(6) 学生保険（WILL）の支援に対する満足度

● 5 : 満足	83
● 4 : やや満足	36
● 3 : やや不満	1
● 2 : 不満	1
● 1 : 利用したことがなくわからない	52



「利用経験なし」と回答した学生は 52 人（30%）/173 人で、昨年（26.1%）より 4 ポイント増加していた。利用したとされる 121 人の満足度の内訳を以下に示した。

✓ 「満足」83 人（68.6%、昨年比 3 ポイント増）、「やや満足」36 人（30%、昨年同率）で、おおむね満足と回答した割合は 98.6%だった。

✓ 「不満」、「やや不満」は各 1 人（1.7%）であった。

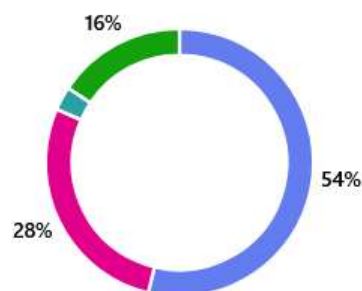
自由記載欄に「利用方法のわかりやすいマニュアルがほしい」、「高い。必ず入れと言われたのにみんな入っていない」といった意見が見られた。

学生保険については利用経験がない学生の割合が増えた一方、少数ながら不満がある学生が見られた。利用方法や加入割合に対する意見もあった。

「Ⅱ.屋内施設」について

(1) 図書館の蔵書数に対する満足度

● 5 : 満足	93
● 4 : やや満足	48
● 3 : やや不満	5
● 2 : 不満	0
● 1 : 利用したことがなくわからない	27



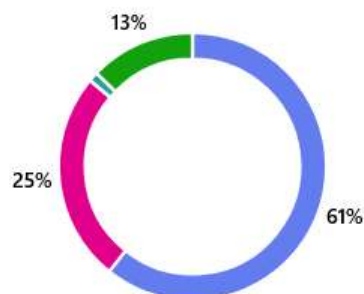
「利用経験なし」と回答した学生は 27 人（15.6%）/173 人で、昨年（9.8%）から約 6 ポイント増加した。利用したことのある回答をした 146 人について、満足度の内訳を以下に示した。

- ✓ 「満足」93 人（63.7%）、「やや満足」48 人（32.9%）で、おおむね満足と回答した割合は 96.6%であった。利用者の満足度内訳は昨年とほぼ同様である。
- ✓ 「やや不満」5 人（3.4%）で、「不満」と回答した学生はいなかった。蔵書数に関する不満の内容を回答した自由記載内容として、実習中・試験期間前の開館時間延長や日曜開館、課題や演習で利用する図書の複本の増加の要望があった。

低学年を中心に図書館を利用したことのない学生の増加がみられた。利用者のほとんどが蔵書数に満足していたが、開館時間や複本数に関する要望があった。

(2) 図書館の環境・設備(図書検索、グループワーク室等)に対する満足度

● 5 : 満足	105
● 4 : やや満足	44
● 3 : やや不満	2
● 2 : 不満	0
● 1 : 利用したことがなくわからない	22



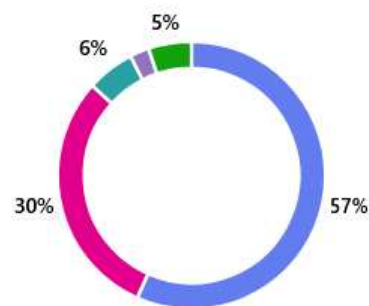
「利用経験なし」と回答した学生は 22 人（12.7%）/173 人で、昨年（9.1%）より増加した。利用したことがある 151 人について、満足度の内訳を以下に示した。

- ✓ 「満足」105 人（69.5%、昨年比 6 ポイント増）、「やや満足」44 人（29.1%、昨年比 2%増）で、おおむね満足と回答した割合は 98.7%（昨年比 5 ポイント増）であった。
- ✓ 「不満」0 人、「やや不満」2 人、不満を挙げた割合は 1.3%であった。
- ✓ 図書館の環境・設備に関する自由記載意見はみられなかった。

図書検索やグループワーク室等を利用したことのない学生の割合は増加傾向だが、利用者の図書館の環境・設備への満足度は非常に高かった。

(3) 自習室の環境（広さ、照明、空調等）に対する満足度

● 5：満足	98
● 4：やや満足	52
● 3：やや不満	10
● 2：不満	4
● 1：利用したことがなくわからない	9



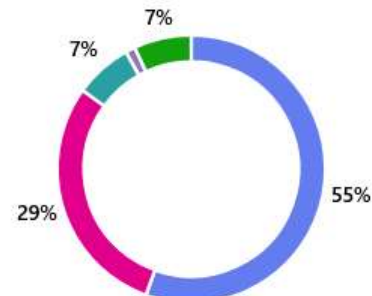
「利用経験なし」と回答した学生は 9 人（5.2%）/173 人で、昨年（4.2%）から微増した。利用したことがある回答をした 164 人について、満足度の内訳を以下に示した。

- ✓ 「満足」98 人（59.8%、昨年比 58.1%、「やや満足」33.1%で、おおむね満足と回答した割合は 91.5%であった。
- ✓ 「不満」4 人（2.4%、昨年ほぼ同率）、「やや不満」10 人（6.1%昨年比 0.5 ポイント減）で、不満感を回答した割合は 8.5%（昨年比 0.3 ポイント減）であった。
- ✓ 自由記載では、「空調が臭う」「開放時間を延長してほしい」という意見があった。

自習室の利用経験がある学生の割合は 94.8%で昨年と同じく高い水準である。利用した学生のおおむね 9 割は満足しているが、自習室の開放日や時間、空調の臭いに関する要望があった。

(4) 自習室の設備（パソコン、Wi-Fi、複合機等）に対する満足度

● 5：満足	96
● 4：やや満足	51
● 3：やや不満	12
● 2：不満	2
● 1：利用したことがなくわからない	12



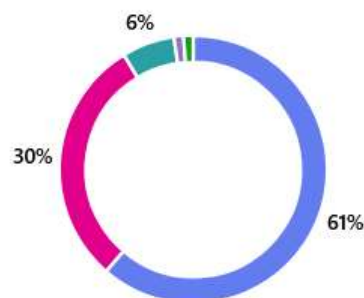
「利用経験なし」と回答した学生は 12 人（6.9%）/173 人で、昨年（6.3%）とほぼ同率である。利用したことがある旨の回答をした 161 人について、満足度の内訳を以下に示した。

- ✓ 「満足」96 人（59.6%、昨年比 11 ポイント増）「やや満足」51 人（31.7%、昨年比 2 ポイント増）、おおむね満足と回答した割合は 91.3%（昨年 78.2%、13 ポイント増）であった。
- ✓ 「不満」2 人（1.2%、昨年比 10 ポイント減）、「やや不満」12 人（7.5%、昨年比 3 ポイント減）不満感を回答した割合は 8.7%（昨年 21.8%、昨年比 13 ポイント減）であった。
- ✓ 自由記載で記載された不満の内容としては「多数利用時に Wi-Fi が遅くなる」「PC や印刷機の不調がある」などが見られた。自習室と廊下の間の間仕切り設置などの要望もあった。

自習室の設備は 9 割以上の学生が利用しており、利用者の 9 割の学生は満足していると回答し、満足度は昨年より向上した。ただし、Wi-Fi 接続や PC と複合機の利用についての改善を求める意見は少数ながら引き続き見られた。

(5) 講義室・演習室の環境（広さ、照明、音響等）に対する満足度

● 5：満足	106
● 4：やや満足	52
● 3：やや不満	11
● 2：不満	2
● 1：利用したことがなくわからない	2

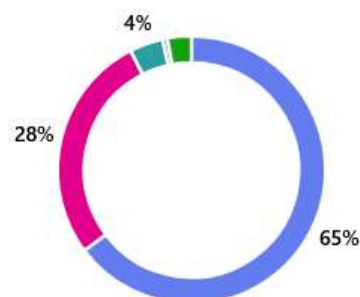


- ✓ 「満足」106人（61.6%、昨年比4.5ポイント増）、「やや満足」52人（30.2%、昨年比4ポイント減）、おおむね満足と回答した割合は全体の約9割であった。
- ✓ 「不満」1.2%（昨年比2ポイント減）、「やや不満」11人（6.4%、昨年比3ポイント増）で、不満感を回答した割合は7.6%（昨年比0.5ポイント増）であった。
- ✓ 自由記載では、講義室モニターの見づらさについての意見は減ったものの、空調設備の臭いを指摘する回答が複数みられた。また、演習室等の自習利用の拡大（室数、時間等）の要望もあった。

講義室・演習室はほぼ全員の学生が利用し、9割強の学生は満足しているが、講義室の空調の臭いについての意見があった。演習室については自習利用の拡大の要望があった。

(6) 学生会館（食堂含む）の環境（広さ、照明、空調等）に対する満足度

● 5：満足	112
● 4：やや満足	48
● 3：やや不満	7
● 2：不満	1
● 1：利用したことがなくわからない	5



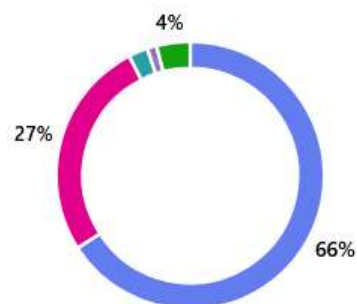
「利用経験なし」と回答した学生は5人（2.9%）/173人で、昨年（1.7%）より2ポイント増加した。利用したことがある回答をした168人について、満足度の内訳を以下に示した。

- ✓ 「満足」112人（66.7%、昨年比2ポイント増）、「やや満足」48人（28.6%、昨年比3ポイント減）で、おおむね満足という回答の割合は95.2%で昨年とほぼ同様（昨年比1ポイント減）であった。
- ✓ 「不満」1人（0.6%、昨年比1.5ポイント減）、「やや不満」7人（4.2%、昨年比2.8ポイント増）で、不満感を回答した割合は4.8%（昨年比1.3ポイント増）であった。
- ✓ 自由記載には食堂の席数の増加などの要望があった。

学生会館は97%の学生が利用し、95%の学生はおおむね満足していたが、席数拡大の要望意見がみられた。

(7) 学生会館（食堂含む）の施設・設備（演習室・Wi-Fi 等）に対する満足度

● 5：満足	114
● 4：やや満足	46
● 3：やや不満	4
● 2：不満	2
● 1：利用したことがなくわからない	7



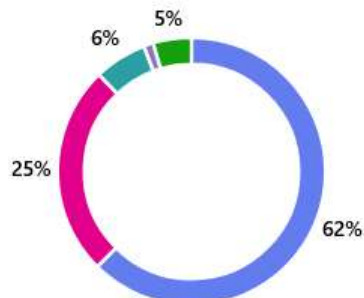
「利用経験なし」と回答した学生は 7 人（4.0%）/173 人で、昨年（0.7%）よりも増加した。利用したことがあると回答した 166 人について、満足度の内訳を以下に示した。

- ✓ 「満足」114 人（68.7%、昨年比 14 ポイント増）、「やや満足」46 人（27.7%、昨年比 1 ポイント減）で、おおむね満足と回答した割合は 96.4（昨年 83.0%、13 ポイント増）であった。
- ✓ 「不満」2 人（1.2%、昨年比 4.5 ポイント減）、「やや不満」4 人（2.4%、昨年比 9 ポイント減）、不満感を回答した割合は 3.6%（昨年 17.0%、13.4 ポイント減）であった。
- ✓ 自由記載では、多客時に Wi-Fi が遅くなるとの意見があったが昨年まであった繋がりにくいとの意見はなくなった。

学生会館の施設・設備は約 95%の学生が利用し、満足度も 95%以上に向上した。ただし、多客時の通信環境（Wi-Fi）には改善を求める意見がまだ見られた。

(8) 上記屋内施設の開放時間に対する満足度

● 5：満足	108
● 4：やや満足	44
● 3：やや不満	11
● 2：不満	2
● 1：利用したことがなくわからない	8



屋内施設（図書館・講義室・自習室・演習室・学生会館）の開放時間については、「利用経験なし」と回答した学生は 8 人（4.6%）/173 人で昨年（4.2%）よりわずかに減少した。利用したことがある旨の回答をした 165 人について、満足度の内訳を以下に示した。

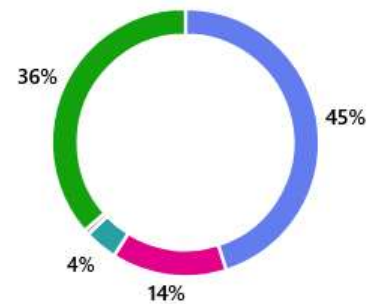
- ✓ 「満足」108 人（65.5%、昨年比 5 ポイント増）、「やや満足」44 人（26.7%、昨年比 2 ポイント減）で、おおむね満足と回答した割合は 92.1%（昨年 89.0%、3.1 ポイント増）であった。
- ✓ 「不満」2 人（1.2%、昨年比 2.5 ポイント減）、「やや不満」11 人（6.7%昨年比 0.7 ポイント減）で、不満感を回答した割合は 7.9%8（昨年 11.0%、昨年比 3.1 ポイント減）であった。
- ✓ 自由記載では、自習室・演習室の開放室数の増加や日曜を含めた開館期間・時間の延長を求める意見があった。

図書館・講義室・自習室・演習室・学生会館の屋内施設は 95%近くの学生が利用し、利用者の 9 割以上は満足しているが、自習室・演習室の開放室数の増加や日曜を含めた開館期間・時間の延長を求める意見があった。

「Ⅲ. 屋外施設」について

（１）駐輪場（設置場所、駐輪可能数）に対する満足度

● 5：満足	78
● 4：やや満足	24
● 3：やや不満	7
● 2：不満	1
● 1：利用したことがなくわからない	63



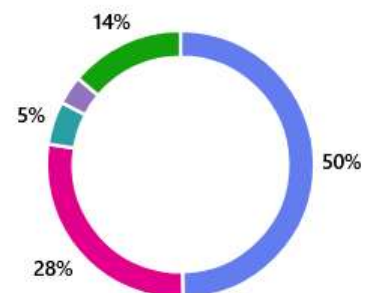
「利用経験なし」と回答した学生は 63 人（36.4%）/173 人で、昨年（35.2%）とほぼ同率だった。利用経験がある旨の回答をした 110 人について、満足度の内訳を以下に示した。

- ✓ 「満足」78 人（70.9%、昨年比 8.9 ポイント増）、「やや満足」24 人（21.8%、昨年比 8.6 ポイント減）で、おおむね満足と回答した割合は 92.7%（昨年 92.4%とほぼ同率、0.3 ポイント増）であった。
- ✓ 「不満」1 人（0.9%、昨年比 2.4 ポイント減）、「やや不満」7 人（6.4%、昨年比 2.1 ポイント増）で、不満感を回答した割合は 7.3%（昨年比 0.3 ポイント減）であった。
- ✓ 自由記載では駐輪場（学生会館横）への屋根や照明の設置要望があった。

駐輪場は 63.6%の学生が利用し、利用者の 9 割強の学生が満足していた。一部施設の屋根や照明の設置の要望があった。

（２）体育館に対する満足度

● 5：満足	86
● 4：やや満足	48
● 3：やや不満	9
● 2：不満	6
● 1：利用したことがなくわからない	24



「利用経験なし」と回答した学生は 24 人（13.9%）/173 人で、昨年（21.8%）よりも減少していた。

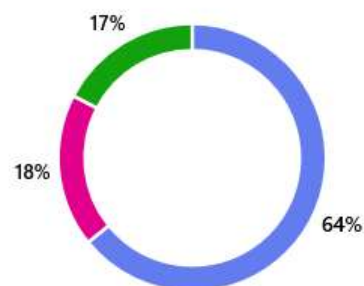
利用したことがある旨の回答を得た 149 人について、満足度の内訳を以下に示した。

- ✓ 「満足」86 人（57.5%、昨年比 2.8 ポイント減）、「やや満足」48 人（32.2%、昨年比 0.2 ポイント減）で、おおむね満足していると回答した割合は 89.9%（昨年 93.7%、3.8 ポイント減）であった。
- ✓ 「不満」6 人（4%、昨年比 2.2 ポイント増）、「やや不満」6 人（6.0%、昨年比 1.5 ポイント増）で、不満感を持っている回答は 10.1%（昨年 6.3%、3.8 ポイント増）であった。
- ✓ 自由記載では、育館に空調設備あるいは大型扇風機の設置を求める意見が 10 例以上あった。

体育館は 8 割強の学生が利用している。利用者が増加している反面満足度はやや減少傾向にあり、体育館に空調設備や大型扇風機の設置を求める意見が多くみられた。

(3) 警備員巡視や夜間の照明など、セキュリティに対する満足度

● 5：満足	111
● 4：やや満足	32
● 3：やや不満	0
● 2：不満	0
● 1：利用したことがなくわからない	30



「利用経験なし」と回答した学生は 30 人（17.3%）/173 人で、昨年（21.1%）より約 4 ポイント減少していた。利用したことがある旨の回答 143 人について、満足度の内訳を以下に示した。

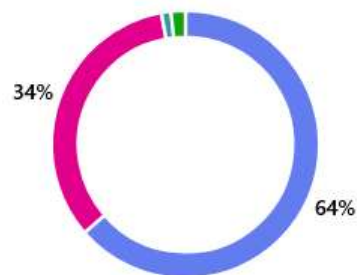
✓ 「満足」111 人（77.6%、昨年比 5.2 ポイント増）、「やや満足」32 人（22.4%、昨年比 4.5 ポイント増）で、全員がおおむね満足回答した。

警備員巡視や夜間の照明などのセキュリティは 84% のの学生が利用し、利用経験のある学生すべてがおおむね満足したと回答した。

「Ⅳ. 大学生活全般」について

(1) シラバス・項目構成の説明に対する満足度

● 5 : 満足	110
● 4 : やや満足	58
● 3 : やや不満	2
● 2 : 不満	0
● 1 : 利用したことがなくわからない	3



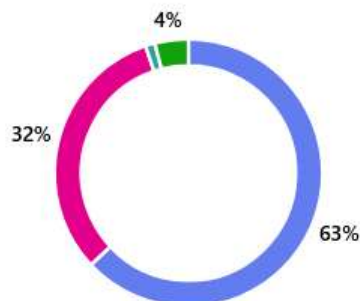
「利用経験なし」と回答した学生は 3 人 (1.7%) /173 人で、昨年 (4.2%) より 2.5 ポイント減少した。それ以外の学生 170 人について、満足度の内訳を以下に示した。

- ✓ 「満足」110 人 (64.7%、昨年比 2.9 ポイント増) 61.8%、「やや満足」58 人 (34.1%、昨年比 0.3 ポイント増) で、おおむね満足と回答した割合は 98.8%であった。
- ✓ 「不満」は 0 人、「やや不満」2 人 (1.2%、昨年比 1 ポイント減) であった。

シラバス・項目構成の説明はほぼ全員の学生が利用し、利用者はほぼ全員満足していた。

(2) 進級支援(成績管理、履修登録制度)の説明に対する満足度

● 5 : 満足	109
● 4 : やや満足	55
● 3 : やや不満	2
● 2 : 不満	0
● 1 : 利用したことがなくわからない	7



「利用経験なし」と回答した学生は 5 人 (2.9%) /173 人で、昨年 (3.5%) より 0.6%減少している。

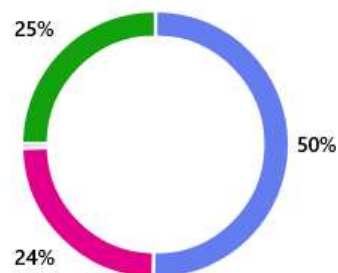
利用経験がある旨の回答をした学生 168 人について、満足度の内訳を以下に示した。

- ✓ 「満足」109 人 (64.9%、昨年比 9.4 ポイント増)、「やや満足」55 人 (32.7%、昨年比 8.2 ポイント減) で、おおむね満足と回答した割合は 97.6% (昨年比 1.2 ポイント増) であった。
- ✓ 「やや不満」という回答が 2 人 (1.2%、昨年比 2.4 ポイント減) あった。

進級支援の利用経験がある学生の割合は昨年なみで推移し、95%以上の全員の学生が進級支援を経験し、ほぼ全学生が満足している。

(3) 学生自治会・学生団体（部、サークル）活動に対する満足度

5：満足	87
4：やや満足	42
3：やや不満	0
2：不満	1
1：利用したことがなくわからない	43



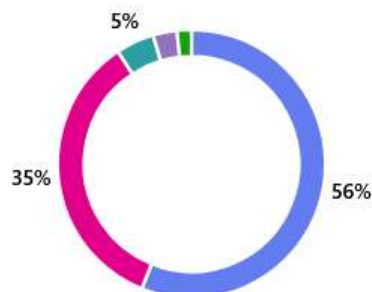
「利用経験なし」と回答した学生は 43 人（24.9%）/173 人で、昨年（28.8%）より 3.9 ポイント減少している。利用したことがある旨の回答を得た学生 130 人について、満足度の内訳を以下に示した。

- ✓ 「満足」87 人（66.9%、昨年比 8.5 ポイント増）「やや満足」42 人（32.3%、昨年比 4 ポイント減）で、満足であるという旨の回答の割合は 99.2%であった。
- ✓ 「不満」と回答したのは 1 名（0.8）、「やや不満」の回答はなかった（昨年より 5 ポイント減）。自由記載では「サークルの顧問の先生の対応が悪い」との記載があった。

学生自治会・学生団体（部、サークル）活動の経験がない学生は約 25%で、活動経験がある学生のほぼ全員が満足している。

(4) 事務職員の対応(受付時間、丁寧さ)に対する満足度

5：満足	97
4：やや満足	60
3：やや不満	8
2：不満	5
1：利用したことがなくわからない	3

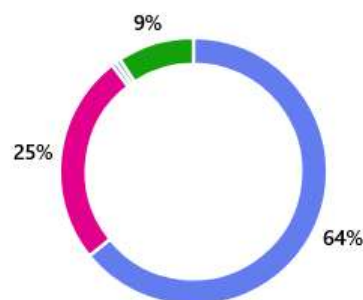


「利用経験なし」と回答した学生は 3 人（1.7%）/173 人で、昨年（1.4%）とほぼ同比率であった。利用経験のある回答を得た 170 人について、満足度の内訳を以下に示した。

- ✓ 「満足」97 人（57.1%、昨年比 9.2 ポイント増）、「やや満足」60 人（35.3%、昨年比 4.7 ポイント減）で、おおむね満足であるという回答は 92.4%（昨年比 4.5 ポイント増）であった。
- ✓ 「不満」5 人（2.9%、昨年比 2.1 ポイント減）、「やや不満」8 人（4.7%、昨年比 2.4 ポイント減）で、不満感を持っている回答の割合は 7.6%（昨年比 4.5 ポイント減）であった。
- ✓ 自由記載では昨年に引き続き、学務の事務終了時間延長（18 時半まで等）と、事務局の接遇の改善要望があった事務職員の対応はほぼ全員の学生が経験し、学生の満足度は 9 割以上がおおむね満足しているが、事務終了時間延長や接遇改善の要望があった。

（５）保健室や健康診断など健康面の支援体制に対する満足度

● 5：満足	111
● 4：やや満足	44
● 3：やや不満	1
● 2：不満	1
● 1：利用したことがなくわからない	16



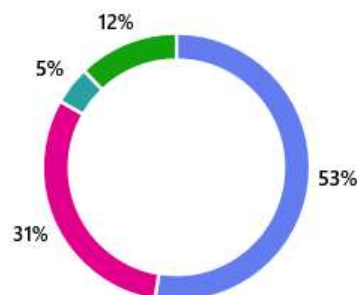
「利用経験なし」と回答した学生は 16 人（9.2%）/173 人で、昨年（9.9%）より微減している。利用した旨の回答を得た学生 157 人について、満足度の内訳を以下に示した。

- ✓ 「満足」111 人（70.1%、昨年比 0.7 ポイント減）、「やや満足」44 人（28%、昨年比 0.1 ポイント減で、おおむね満足という回答をした割合は昨年から微増の 98.7%（昨年比 1.8%増）であった。
- ✓ 「不満」、「やや不満」は各 1 人（各 0.6%）で、不満感を持っている回答は 1.3%であった。

保健室や健康診断など健康面の支援体制は 約 9 割の学生が利用し、利用した学生のほぼ全員が満足している。

（６）奨学金やアルバイト紹介など経済的な支援に対する満足度

● 5：満足	91
● 4：やや満足	53
● 3：やや不満	8
● 2：不満	0
● 1：利用したことがなくわからない	21



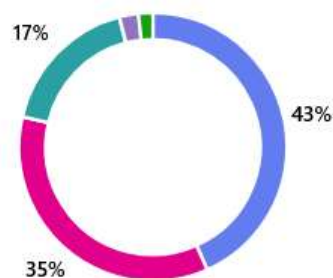
「利用経験なし」と回答した学生は 21 人（12.1%）/173 人で、昨年（13.4%）より 1.3 ポイント減少していた。利用した旨の回答をした学生 152 人について、満足度の内訳を以下に示した。

- ✓ 「満足」91 人（59.9%、昨年比 2.7%減）、「やや満足」53 人（34.9%、昨年比 1.6%増）で、おおむね満足であるという旨の回答の割合は 94.7%（昨年比 1.2 ポイント減）であった。
- ✓ 「不満」の回答はなかった（3.3 ポイント減）、「やや不満」が 8 人（5.3%、昨年比 4.5 ポイント増）で、不満であるという旨の回答の割合は 1.3 ポイント増加していた。
- ✓ 自由記載ではアルバイト原則禁止の実習期間中の支援・援助施策の創設や、連帯保証人が得られない学生が奨学金を利用できない実態の改善を求める声があった。

奨学金やアルバイト紹介などの利用経験のある学生は 87.9%で、昨年より微増しているほか、実習期間中の経済援助や連帯保証制度に関する改善の要望があった。

「V. 総合的な学生生活」に対する満足度について

5：大変満足	75
4：満足	61
3：やや満足	30
2：やや不満	4
1：不満	3



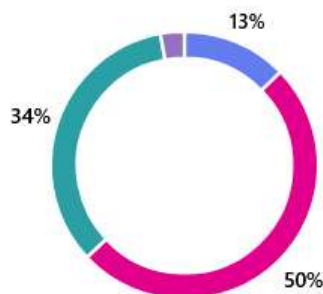
- ✓ 「大変満足」75人（43.4%、昨年 34.5%より 8.9 ポイント増）、「満足」61人（35.3%、昨年 35.2%より微増、「やや満足」61人（17.3%、昨年 25.4%より 8 %減）であり、おおむね満足であるという回答の割合は 96%であった（昨年 95.1%より微増）。
- ✓ 「不満」3人（1.7%、昨年比 1.8 ポイント減）、「やや不満」4人（2.3%、昨年比 0.9 ポイント減）で、不満である旨の回答の割合は 4.9%（昨年と同率）であった。

95%以上の学生は総合的な学生生活に満足しており、その比率は昨年度とほぼ同率（微増）であった。

「VI. 現在の生活状況」に関する実態

（1）通学の状況（どこから通学しているか）について

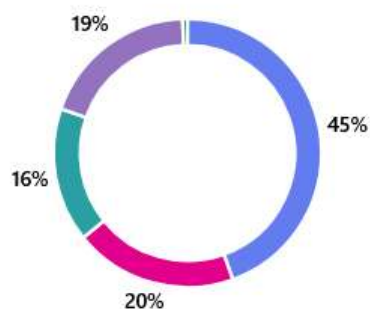
1：鴨川市内（実家）	22
2：鴨川市内（実家以外）	87
3：鴨川市外（実家）	59
4：鴨川市外（実家以外）	5



- ✓ ほぼ半数（87人、50%）の学生がアパートなど鴨川市内の実家以外から通学している。昨年の「鴨川市内（実家以外）」は 59.2%であり、約 10 ポイント減少している。
- ✓ 実家通学をしている学生は 81人（47%）で、実家通学者では鴨川市外からの通学が市内通学者の倍以上である、
- ✓ 「鴨川市内（実家）」の割合は昨年の 14.7%とほぼ同じだが、「鴨川市外（実家）」の割合は昨年の 21.8%の 1.5 倍に近くなっていた。

(2) 通学時間（片道）について

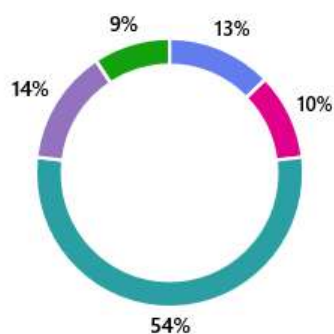
1：10分以内	77
2：10～30分	34
3：30分～1時間	28
4：1時間～2時間	33
5：2時間以上	1



- ✓ アパート利用者を中心とする通学時間（片道）が「10 分以内」は 77 人（45%）であり、昨年の 50.0%より減少していた。「10～30 分以内」も 34 人（20%）で昨年の 27%より減少していた。通学時間 30 分以内の学生は昨年度の約 75%から 10 ポイント以上減少していた。
- ✓ 通学時間（片道）が「30 分～1 時間」は 28 人（16%、昨年比 2.6 ポイント増）、「1～2 時間」は 33 人（19%、昨年比 6 ポイント増）、「2 時間以上」0.7%と、通学時間の増加傾向がみられた。

(3) 経済状況について

1：余裕がある	22
2：やや余裕がある	18
3：普通	93
4：やや厳しい	24
5：厳しい	16

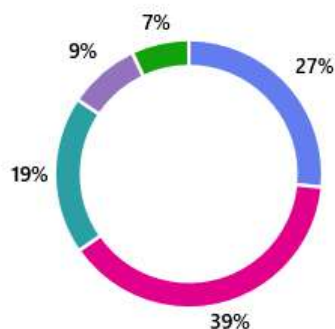


- ✓ 「余裕がある」22 人（13%）は昨年（12.7%）とほぼ変わらないが、「やや余裕がある」18 人（10%）は 13.4%より減少している。その一方、「普通」93 人（54%）は増加（昨年 50%）していた。
- ✓ 「厳しい」16 人（9%、昨年 6.3%）、「やや厳しい」24 人（14%、昨年 17.6%）を合わせた割合は 23%であり、昨年（23.9%）とほぼ同率で推移している。

経済状況が「普通」の学生は半数強で最も多いが、経済状況が「厳しい」「やや厳しい」が 3 割弱おり、「余裕がある」「やや余裕がある」は 25%前後と減少傾向にある。

（４）毎月の生活費（住居費、水道・光熱費、食費、交通費、交際費など）について

● 1：4万円未満	46
● 2：4万～7万円未満	67
● 3：7万～10万円未満	33
● 4：10万～13万円未満	15
● 5：13万円以上	12

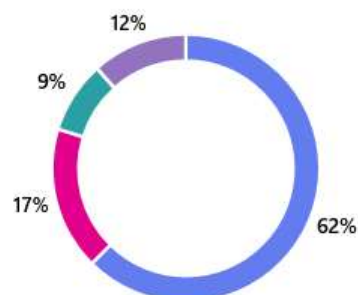


- ✓ 毎月の生活費は、「4～7 万円」と回答した学生が 67 人（39%）と最多で、割合は昨年度より微増している。
- ✓ 昨年度これに次いでいた「7～10 万円」は 33 人（19%）と 5 ポイント減少（昨年度 23.9%）、一方で「4 万円未満」が 46 人（27%）と昨年（21.1%）より 6 ポイント増加している。
- ✓ 10 万円以上生活費をかけているのは 27 人（16%）である。

毎月の生活費が「4～7 万円」の学生は 4 割弱で最も多く、約 85%の学生は 10 万円未満である。また、生活費が 4 万円未満の割合は増加し、学生の 3 割弱を占めている。

（５）アルバイトの状況について

● 1：定期的に行っている	108
● 2：不定期的に行っている	30
● 3：したことがない	15
● 4：以前はしていたがやめた	20



- ✓ 「定期的に行っている」は 108 人（62%）と昨年（61.3%）とほぼ同様の割合である。「不定期的に行っている」は 30 人（17%）でこちらも昨年（17.6%）とほぼ変わらない。
- ✓ アルバイトをしている学生の割合は全体で 79%と昨年と変わらないが、2023 年（73.4%）、2022 年（70.5%）と比較すると増加傾向にある。

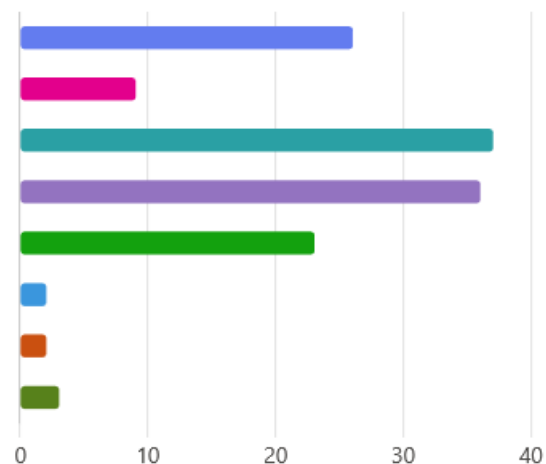
「以前はしていたがやめた」10.6%を加味すると、アルバイト経験のある学生の割合は 89%であった。

- ✓ 「したことがない」と回答した学生は 15 名（9%）で、昨年（10.6%）とほぼ同じである。

定期的にアルバイトをしている学生は 6 割、不定期を含むと 8 割に近く、アルバイトをしていない学生のほうが少数である。

（６）平日アルバイトの 1 日あたりの平均時間

● 1：1時間	26
● 2：2時間	9
● 3：3時間	37
● 4：4時間	36
● 5：5時間	23
● 6：6時間	2
● 7：7時間	2
● 8：8時間以上	3



上記Ⅵ-（５）で、アルバイトを「定期的に行っている」「不定期に行っている」と回答した学生 138 名から回答を得た。

✓ 「3 時間」37 人（27%）「4 時間」36 人（26%）が多く両者を合わせると半数を超えた。

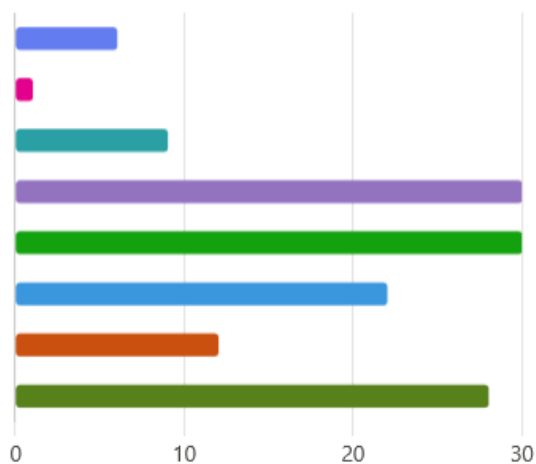
✓ 「1 時間」の短時間アルバイトを行っているものも 26 人（19%）いた。

✓ 6 時間以上のアルバイトをしている学生も 7 名（5%）いた。

平日アルバイトの 1 日あたりの平均時間が 3 ～4 時間の学生がほぼ半数を占めるが、6 時間を超えるアルバイトを行っている学生も 5%程度いた。

（７）休日アルバイトの 1 日あたりの平均時間

● 1：1時間	6
● 2：2時間	1
● 3：3時間	9
● 4：4時間	30
● 5：5時間	30
● 6：6時間	22
● 7：7時間	12
● 8：8時間以上	28



上記Ⅵ-（５）で、アルバイトを「定期的に行っている」「不定期に行っている」と回答した学生 138 名から回答を得た。

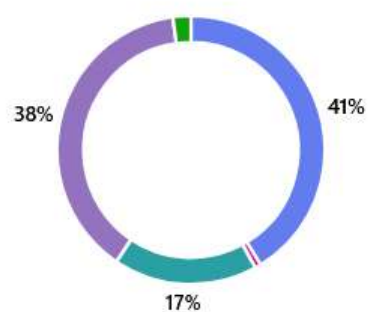
✓ 休日にも「4 時間」「5 時間」と答えが学生が各 30 人（22%）だが、昨年より 2 ポイント減少傾向である。次いで「5 時間」（23.2%）であった。

✓ 次いで「8 時間以上」が 28 名（20%）で、昨年（15%）より 5 ポイント上昇していた。

休日アルバイトは平日よりも 1 時間程度長く働く学生が半数近いが、2 割近くの学生が 8 時間以上の長時間労働を行っている

（８）アルバイトをしている最大の理由について

● 1：学費・生活費にあてるため	57
● 2：部・サークル活動費	1
● 3：貯金	24
● 4：娯楽費	53
● その他	3



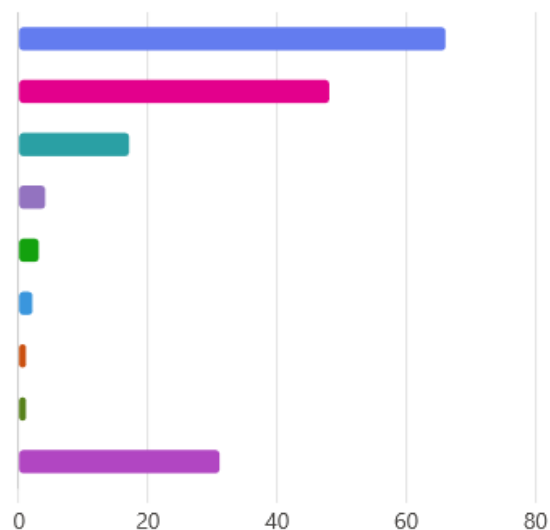
上記Ⅵ-（５）で、アルバイトを「定期的に行っている」「不定期的に行っている」と回答した学生 138 名から回答を得た。

- ✓ 「学費・生活費にあてるため」が 57 名（41%）で昨年（39.3%）と同様最も多かった。2023 年は 49.2%、2022 年は 55.0%であり、ここ数年減少傾向にある。娯楽費は 53 人（38%）で、昨年と同率であった。
- ✓ 「貯金」は 17%で昨年（21.4%）より 4.5 ポイント減少している。

「Ⅶ. 修学の状況」に関する実態

(1) 平日の1日あたりの授業外学習時間について

1 : 1時間	66
2 : 2時間	48
3 : 3時間	17
4 : 4時間	4
5 : 5時間	3
6 : 6時間	2
7 : 7時間	1
8 : 8時間以上	1
9 : 特にしていない	31

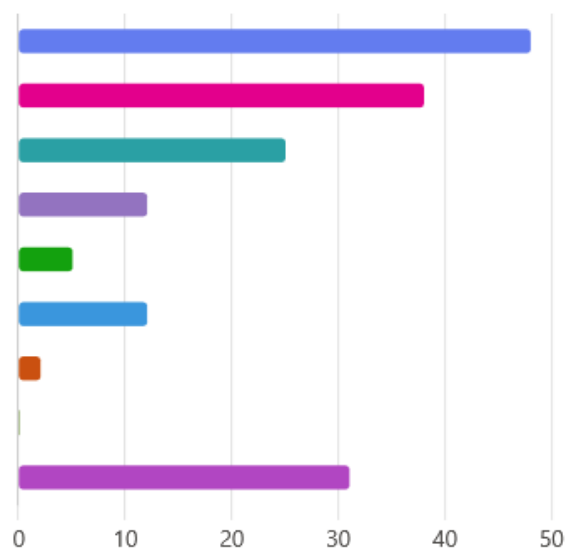


- ✓ 最も多かったのは「1時間」66人（38%）で、昨年（32.4%）より5ポイント増加していた。ついで「2時間」48人（28%）で、こちらは昨年（30.3%）より微減していた。
- ✓ 4時間以上の学習者は11人（6.4%）で、昨年（6.3%）とほぼ同率であった。
- ✓ 「特にしていない」は31人（17.9%）で昨年（14.1%）より3.8ポイント増加していた。

昨年と比較し、学習時間が短くなる傾向が見られ、「特にしていない」学生も増加している。

(2) 休日の1日あたりの授業外学習時間について

1 : 1時間	48
2 : 2時間	38
3 : 3時間	25
4 : 4時間	12
5 : 5時間	5
6 : 6時間	12
7 : 7時間	2
8 : 8時間以上	0
9 : 特にしていない	31

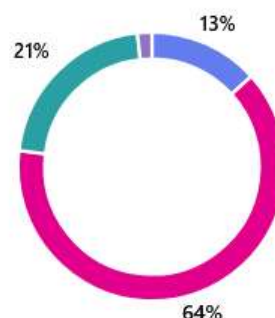


- ✓ 「1時間」48名（27.7%）が最も多く、「2時間」38人（22%、昨年26.8%）、「3時間」25人（14%、昨年18.3%）と続く。2024年は2時間（26.8%）、2023年は「3時間」（22.0%）が最も多かったため、学習時間は短縮傾向がみられた。

- ✓ 学習時間 2 時間未満がほぼ半数を占める 5 時間までを集計すると 81.7%で、去年は 70.8%であった。
 - ✓ 6 時間以上学習している割合 14 名（8%）であり、2024 年（2.8%）2023 年（5.1%）より増加していた。
 - ✓ 「特にしていない」のは、31 人（18%）で、2024 年（15.5%）、2023 年（14.7%）と増加傾向がみられた。
- 休日の 1 日あたりの授業外学習時間は半数が 2 時間未満、学習をしないものも 2 割近くにのぼった。ただし、6 時間以上の学習をしているものも 1 割程度見られ、学習時間に大きな差が生じていた。

（３）授業全般を平均してみても、授業についていけないと思うことがあるか

● 1：全く思わない	23
● 2：あまり思わない	110
● 3：そう思う	37
● 4：強くそう思う	3

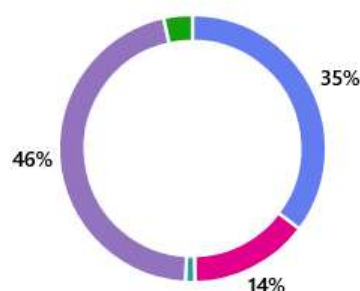


- ✓ 「全く思わない」が 23 人（13%）と昨年（16.9%）より 4 ポイント減少、「あまり思わない」が 110 人（64%）と 6 ポイント増加していた。両者を合わせた割合は 77%であり、2024 年の 74.6%、2023 年の 70.1%より増加していた。
- ✓ 「強くそう思う」3 人（2%）、「そう思う」37 人（21%）を合わせた割合は 23%であり、2024 年の 25.4%、2023 年の 30.0%より減少傾向にあった。

授業全般を平均して 8 割弱の学生は授業への遅れを感じておらず、授業についていけないと思う学生は 23%にとどまった。ここ数年前者は増加、後者は減少傾向にある。

（４）授業で不明点があった場合に」どのように対応しているか

● 1：自分で学習する	61
● 2：科目担当教員に尋ねる	25
● 3：チューターに尋ねる	2
● 4：友人や先輩に相談する	79
● 5：何もしない	6



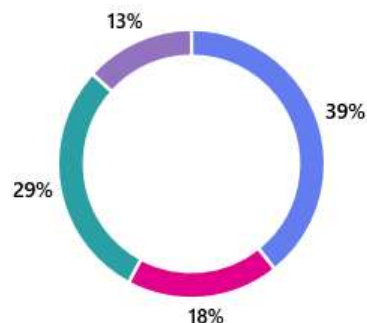
- ✓ 「友人や先輩に相談する」79 人（46%）が最も多く、昨年（45.1%）とほぼ同率であった。
- ✓ 「自分で学習する」61 人（35%）が昨年（24.6%）より 10 ポイント近く増加していた。
- ✓ 「科目担当教員に尋ねる」は 25 人（14%）にとどまり、昨年（21.1%）より 5 ポイント以上減少した。
- ✓ 「何もしない」6 人（3%）は昨年（6.3%）から半減していた。

授業で不明点があった場合、「友人や先輩に相談する」学生が最も多いが、「自分で学習する」が大きく増加していた。「科目担当教員に尋ねる」は 14%、「何もしない」学生も 3%いたが昨年よりは減少していた。

「Ⅷ. 学生自治会・学生団体（部、サークル）活動」に関する実態

（１）学生自治会・学生団体（部、サークル）活動の参加状況について

● 1：参加している	68
● 2：参加していない	32
● 3：参加したことがない	50
● 4：以前は参加していたがやめた	23

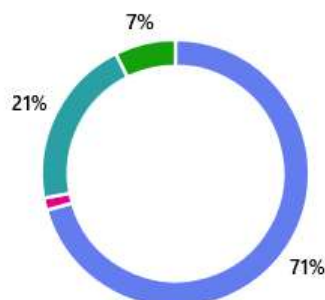


- ✓ 「参加している」は68人（39%）と昨年（33.8%）より5ポイント近く増加していた。「以前は参加していたがやめた」23人（13%）を合わせた割合は52%と半数を超え、2024年（46.5%）、2022年（39.0%）より増加傾向にあった。
- ✓ 「参加していない」32名（18%）、「参加したことがない」50名（29%）を合わせた割合は47%で、2024年（53.5%）、2022年（61%）より低下する傾向にあった。

学生自治会・学生団体（部、サークル）活動に参加経験のある学生は増加し、参加しない（したことがない）学生の割合は減少傾向にあった。

（２）学生自治会・学生団体（部、サークル）活動参加の最大の目的について

● 1：学生間の交流	48
● 2：教員との交流	1
● 3：充実感を得たい	14
● 4：自己表現をしたい	0
● その他	5



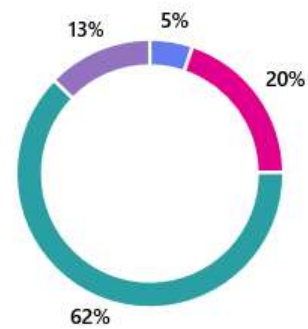
上記Ⅷ-（１）で、学生自治会・学生団体（部、サークル）活動に「参加している」と回答した学生68名から回答を得た。

- ✓ 「学生間の交流」71%が最も多く、昨年（64.6%）より増加傾向にあった。
- ✓ 「充実感を得たい」は21%で昨年（12.5%）より増加していた。
- ✓ 「自己表現したい」という回答はなかった。
- ✓ 「その他」7%の内訳は、「運動が好き」「運動のため」「運動不足解消」「楽しむため」といった回答であった。

学生自治会・学生団体（部、サークル）活動参加の目的は、学生間の交流が約7割と最も多い。

（３）ボランティア活動の経験について

● 1：定期的に行っている	9
● 2：不定期に行っている	34
● 3：したことがない	108
● 4：以前は行っていたがやめた	22



- ✓ 「したことがない」が 108 人（62%）と最も多く、ここ数年同様の傾向を示していた。
- ✓ 次位は「不定期に行っている」34 人（20%）で、昨年（12.0%）より8ポイント増加していた。
- ✓ 「以前は行っていたがやめた」22 人（13%）は昨年（14.8%）より微減していた。
- ✓ 「定期的に行っている」9 人（5%）は最も少なく、2024 年（9.2%）より半減したが、2023 年（4.5%）、2022 年（6.6%）とは類似した傾向を示していた。

ボランティア活動をしたことがない学生は 6 割強で例年とほぼ同率であった。

「IX. 学生生活の悩み」に関する実態

（１）現在、悩みがあるか



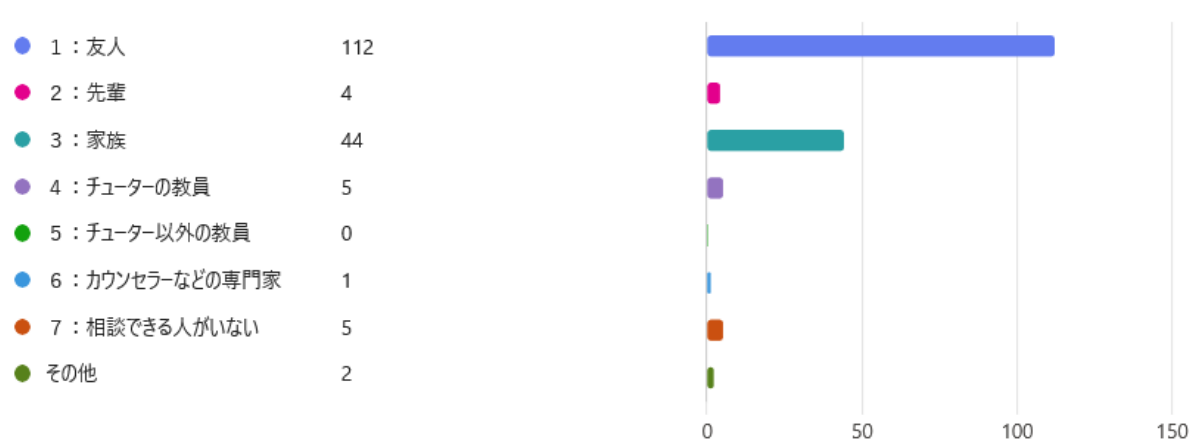
✓ 「ない」114人（66%）が最も多く、昨年（62.7%）より3ポイント微増していた。「ない」はここ数年6割前後で推移していた。

✓ 「少しある」は50人（29%）で、こちらも昨年（32%）と同様の傾向にあった。

✓ 「たくさんある」は9人（5%）で、2024年（5.6%）2023年（5.6%）と類似傾向にあった

現在の学生生活の悩みがない学生は6割強で、悩みのある学生は3割強、たくさん悩みがある学生は5%前後だが、例年類似した傾向にある。

（２）不安や悩みがあるときの主な相談相手



✓ 不安や悩みの相談相手は「友人」が112人（65%）と突出しており、昨年（47.9%）より約17ポイント増加していた。

✓ それに次ぐ「家族」は44人（25%）と昨年（41.5%）より17.5ポイント減少していた。

✓ 「チューターの教員」は5人（3%）と昨年（2.8%）とほぼ同率だったが、「チューター以外の教員」と答えたものはいなかった（昨年1.4%）。また、「カウンセラーなどの専門家」は1名であった。

✓ 「相談できる人が身近にいない」は5名（3%）で、2024年（2.1%）よりやや増加した。

✓ 「その他」2名（1%）は「相談することがない」「特に決まっていない」との回答だった。

不安や悩みがある時の主な相談相手は友人が65%と増加傾向にあり、その反面家族への相談は減少傾向にある。相談できる人がいない学生は3%、チューターの教員が3%と昨年より昨年と類似した傾向を示していた。

「X. 自由記載」の主な内容とその分析結果

項目（件数）	主な内容	分析結果
屋内施設について（12 件）	・ 講義室の壊れた椅子を交換してほしい ・ 講義室が換気されていな ・ 日曜も演習室や図書館を開放してほしい ・ 演習室や図書館の開放時間を延ばしてほしい ・ 図書館を飲水可能にしてほしい ・ 学生用ロッカーを本館にほしい ・ ラウンジの電灯がつかない ・ ラウンジのエアコンがつかない ・ エレベーターを 2 台使用できるようにしてほしい。使えないなら理由を提示すべき ・ 学内全面禁煙の周知が足りず、喫煙者に対する対処が甘い	備品は学務課が定期的に管理しているが、学生からも届け出等が行えること、講義室の 24 時間換気扇や窓開けは自主的にできること等、教職員が常識と考えていることも周知や啓発する必要がある。 開館日数や時間延長、エレベーターの台数や利用制限については安全管理にかかる人件費等を勘案して決定されており、学生には意見が挙がった際その都度周知をしている。 喫煙の周知不足については、ガイダンス時の啓発や学生ハンドブックの記述を改善する必要がある。
大学生活全般について（4 件）	・ UNIPA が使いにくい ・ 学年で学費が違うのが不公平（3 名） ・ 教員とのコミュニケーションをとってほしい ・ 学生の好き嫌いで態度や評価を変えないでほしい	UNIPA の使用方法については、年度初めの学年ガイダンス等で周知をしているが基本的な使用方法が浸透していない様子が見受けられることから、再度ガイダンスなどで周知していく必要がある。また、その他の使用方法については学生より意見聴取等を行い、別途改善を図る。 学費は入学時の契約事項であるが、特に値下げについては不公平感が強いことから何らかの緩和策が行えるのが望ましい。 教員の指導等についてはハラスメント相談員に上まらないレベルの問題点をどのように拾い上げるか検討する必要がある。
その他（7 件）	・ 学生住宅のゴミ捨て場が汚い ・ 学生住宅の駐輪場に車輪止めを設置してほしい（転倒防止のため） ・ 折りたたみ傘用ビニール袋を設置してほしい ・ アイスの自販機を設置してほしい	自己対策すべき内容もあるが、要望として挙げたものについては対策が可能な内容か検討し、学生に回答を提示すべきものもあると思われる。 学生住宅のゴミについては、入居時やゴミ捨て場が汚いことが確認できた際に、使用方法を都度周知して改善を図っている。 費用対効果等から導入が見送られた自販機の改善などは定期的に要望が出るので、その都度回答をし理解を得るようにしている。

7. 学生生活満足度に関する評価および改善の方向性

「Ⅰ.学生支援」の各項目において学生の満足度はおおむね高かったが、少数ながら不満を持つ回答者がいたため、事例収集等の改善は今後も必要と思われる。学生保険（WILL）については使用しづらさや未加入者の問題が指摘されており、事故時などの必要性の高さからも改善の必要があるものと思われる。

「Ⅱ.屋内施設」についても満足度はおおむね高く、不満の多かった自習室等の PC や Wi-Fi 環境に関しては不満が減少した。図書蔵書の複本、自習室の空調や利用時間についての要望は継続的に出されているため、清掃頻度や対応の検討、困難な場合でも検討結果の公開等が求められるだろう。学生食堂の収容人数（椅子設置数）等については本年度新しく挙げた内容のため、検討をお願いしたい。

「Ⅲ.屋外施設」については、駐輪場や警備等についてはほぼ問題がないものの、体育館への空調設置の要望が継続的であり特に目立っている。熱中症等の予防のためにも何らかの対策が必要と思われる。

「Ⅳ.大学生生活全般」では、大学のサービス等の利用度、満足度はおおむね高かったものの、利用したことがあるはずのサービスでも「利用したことがない」との回答が見られた。学生自治会・学生団体活動の経験のない学生は約 3 割に上っており、学生間の格差解消が必要と思われる。また、経済的支援については実習期間の経済援助の要望等があり、低学年時の貯金などの経済的指導の必要性をうかがわせた。

「Ⅴ.総合的な学生生活に対する満足度」では、9 割強の学生は学生生活に満足しているという肯定的評価が得られた。これらの結果に基づき、今後さらなる改善の方向性については、学生保険加入および利用に関する啓発、図書館や自習室等の利用方法の検討、体育館の空調設備の検討等を中心に検討する必要があると考える。

8. 学生生活の実態に関する評価および改善の方向性

学生の「生活状況」「修学の状況」「学生自治会・学生団体活動の状況」「学生生活の悩み」について詳細が明らかとなり、本学の学生生活の特徴が示された。遠距離通学性が増加している一方で生活費は減少し、また多くの学生がアルバイトを行っている。半数以上の学生が平日 3 ～ 4 時間、休日 4 ～ 5 時間のアルバイトを行っているほか、少数ではあるものの長時間のアルバイトに従事する学生や経済的困難感を抱えている学生がいることが明らかになった。平均学習時間の減少や学習習慣の少なさも課題と考えられる。学習の困難時に教員への相談が少ないなどの課題もあるため、引き続き積極的に学習支援を継続していく必要性が示された。

また、学生自治会・学生団体（部、サークル）活動の参加経験がある学生の割合については回復傾向が見られるが、こうした経済的事情等も勘案し、有意義な学生生活と学習を両立できるような支援体制の検討が望まれる。